審査をして頂きました3名の先生方の講評です。

参加された生徒さんは今後の自身の演奏がより向上するヒントが多く書かれていると思いますので、是非、参考にされて下さい。

《竹下 千晴先生》

皆さん、素敵な演奏を聴かせて頂きありがとうございました。お一人お一人が直向きにピアノで語ってくださる音楽の言葉にとっても感動し、幸せな気持ちになりました♪皆さんは今"音楽する喜び"の種を自分の心に蒔いているのです。それぞれのペースでいいのでコツコツと水(練習)をやり栄養(時代背景を調べたり様々な経験をする)を与え、その種を大切に育てて下さい。近い将来きっと美しい花がいっぱい咲く事でしょう！温かい太陽の光は毎日差すとは限りません。寒さに葉が萎れたり、何かで枝が折れたりするかも知れません。でも今、皆さんが学んでいる根っこ(基礎)がしっかりしていれば必ず又芽は出ます。どうぞ今、この時を大切に音楽続けて下さい。そして音楽する喜びを皆で分かち合いましょ♪

《正源司 有加先生》

今回の有明楽器コンクールでも、個性が光る素敵な演奏を沢山聴かせていただき、大変有意義な2日間となりました。素直な感性で、丁寧に演奏されている方ばかりで、皆さんが先生方の温かいご指導のもと学ばれているのがよく伝わって参りました。今後もご自身のペースで、できるだけ長くピアノを楽しんで下さることを願っています。

さて、ピアノを弾く際に「しっかり音を聞きましょう」とよく言われますが、具体的に何を聞けば良いのか分からないという方もいらっしゃるかと思います。おすすめとして、まず聞くべきポイントは「音楽の縦と横のバランス」です。

同時に積み重なる音が綺麗な響きになっているかという「縦のバランス」は勿論、隣り合う音に適切なイントネーション・抑揚がついているかという「横のバランス」を整えることも大切です。例えば4拍子や4つの音のまとまりでは、何か4文字の言葉(「けいたい」「しんぶん」など)を、3拍子や3連符では3文字の言葉(「みかん」など)を当てはめて考えると、自然なイントネーションがイメージしやすいです。「縦と横のバランス」を意識して聞くよう心がけることで、出来上がる音楽は変わってくると思います。成長と共にその他聞くポイントは増えていきますが、少しずつコツをつかんで「聴く力」を育てながら、今後更に色々な曲に挑戦してみてください。

楽器店として、このような貴重な学びの機会を用意されていること、本当に素晴らしい取り組みだと思います。細やかにご配慮頂きました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

≪ 秋田 悠一郎先生 ≫

先日はコンクールへのご参加お疲れ様でした。

まずは、大きいステージで見事に演奏されて、素晴らしい経験をなさったこと、おめでとうございます。

ステージでと言うのは非日常的な特別な時間です。普段練習なさっている自宅やレッスン室とはピアノも空間も異なります。

ピアノは少し特殊な楽器で、自分のピアノを持ち運ぶことが非常に困難です。その為、現場での楽器と仲良くなる、ホールを感じる事がとても大切です。

皆さんは、コンクールのステージ

で、ピアノと仲良くなれましたか？会話を出来ましたか？

最初のうちは「私はいつもこう弾くの！」と演奏する事で精一杯だと思います。少しステージになれてきたら今度は「あなたはどんな性格なの？」「どんな音が出るの？」「私はこう弾きたいんだけど、出してくれる？」と楽器に気持ちを寄せてみて下さい。きっと楽器も応えてくれる筈です。

その為には、楽器からどんな音が出てくるのか、そもそも自分はどんな音楽を奏でたいのか、想像力と聴く耳を育てられて下さい。

練習の時に自分がどんな音楽を奏でているのか感じる耳。

ピアニストが奏でる演奏を聴いて、自分の好みや憧れに気が付く耳。

風や小鳥たち、虫たちなど自然を感じる耳。

ピアニストは耳が命です。

成長著しいこの時期、様々感じとる事を沢山なさっていただけたらと思います。

長くなりましたが最後に、皆さん毎日たくさん練習なさっていると思いますが、ピアノの自由時間もありますか？

練習は、出来ないことをもっと上手になる為にする事です。

それとは別に、とにかく好きにピアノと、音楽と触れ合う時間を大切になさったら、きっともっともっとピアノの事が好きになると思いますよ！

また皆さんの演奏をお聴きするのが今から楽しみです。